

こんにちは！文学部学生修学・就職等相談室です。



(通称:学生相談室です)



九州大学文学部
学生相談室便り

No.9

H28.2.2 発行

文学部の皆さんこんにちは！今月号をもちまして今年度は最後のお便りとなります。

文学部学生修学・就職等相談室は10日が今年度最後の開室日です。昨年4月8日の開室からご利用いただき、ありがとうございました。少し早いですが、学校を巣立つ皆さんには前途を祝してご挨拶を申し上げます。在校生の皆さんは、これまで同様4月から「文学部学生修学・就職等相談室」をご利用ください。

ゲーテの詩「処世のおきて」から次の言葉を餞とさせていただきます。先月号で「今ここにある」ということについてお話ししました。過去は過ぎ去ったもの、どんなに悔やんでもいかんともし難い。未来は「今」の続きでしかない、未来を生きることができない。私たちが生きることができるのは「今」だけです。具体的には意識を「今」に集中することでした。今回は感情面にも触れます。

気持ち良い生活を作ろうと思ったら、
済んだことをくよくよせぬこと、
めったに腹を立てぬこと、
いつも現在を楽しむこと、
とりわけ、
人を憎まぬこと、
未来を神にまかせること

「怒り」は厄介な感情です。「怒り」は二次的に派生するもので、根底に「悲しみ」や「期待」など、別の感情が隠れています。世の理不尽に対する「怒り」は改革のための力になるので、「怒り」を感じてはいけないということではありません。皆さんが感じる「怒り」がご自身や他者を傷つけるものか、改革・建設の原動力になるものか、よくよく考える必要があります。

「楽しむ」には特別な何かを必要としません。2011年3月11日を体験した皆さんは、今この一瞬一瞬が、一呼吸一呼吸が恩恵であることがおわかり頂けるかと思います。歩いていても座っていても「今」を楽しむことはできます。もし、今「悲しみ」や「苦しみ」で楽しむことなんかできない…という方がいらっしゃったら、どうかその「悲しみ」や「苦しみ」にあなたを受け渡さないでください。あなたはそうした感情よりも大きいのですから。

「憎しみ」は皆さんの感情や時間の浪費です。人は憎みながら「今」を楽しむことはできません。「今」に集中していれば、「憎しみ」に費やす時間はありません。

こうして「今」を生きられれば、未来は私たち個人の力の及ばない、大きな流れに委ねることもできるのではないのでしょうか？皆さんのこれからの日々が健康で喜びに満たされますようにお祈りしています。感謝。

相談室閉室期間は学内の他の相談機関をご利用下さい。連絡先は以下の通りです。

- 伊都地区 ウエストゾーン学生相談室 802-3297 センターゾーン学生相談室 802-5820
- 箱崎地区 記念講堂内 642-2287 国際ホール横 642-2287



文学部学生相談員には相談内容に関する守秘義務があります。安心してご相談ください。

○相談予約は学生相談室直通電話番号 092-642-3943 または sodan@lit.kyushu-u.ac.jp にご連絡ください。
また、学生相談室開室日に直接来室して頂けます。(予約のない場合は当日利用できます。)

*文学部学生相談室は文学部学生支援室並びにあります。グリーンの扉が目印です！

2月の学生相談室開室日 開室時間:11時~17時 (面接受付 16時半まで)



2日(火)

3日(水)

9日(火)

10日(水)

